

MAX

取扱説明書

このたびは、マックス充電式ハンディクリーナーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

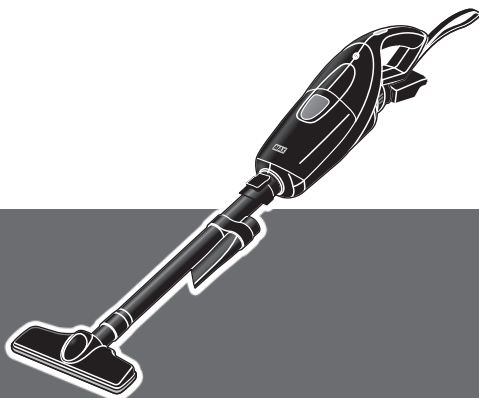
⚠ 警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
- 使用中は、回転部や切りくずなどに手や顔などを絶対に近づけない。
- 使用時以外は絶対にスイッチに触れない。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置、保管しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に分解・改造しない。

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

マックス 充電式
ハンディクリーナー

PJ-HC62

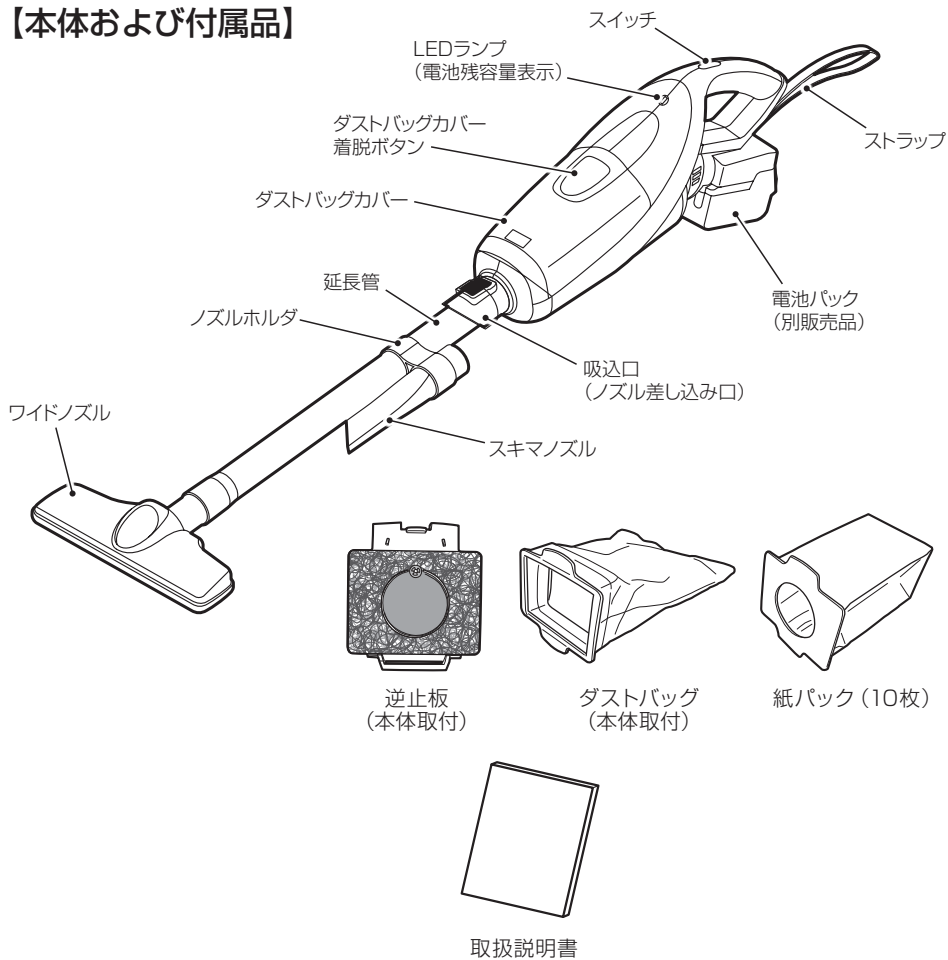


目 次

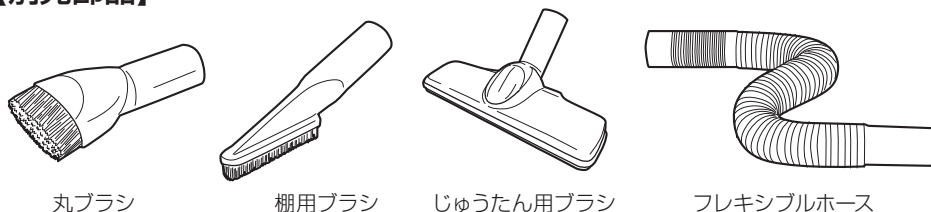
各部の名称	3
安全作業のために	5
安全上のご注意	6
充電式ハンディクリーナーの安全上のご注意	11
仕様及び1充電での作業量(参考値)	12
電池パックと充電器の使い方	13
使用方法	21
電池パックの取り付け、取り外し方	21
スイッチの扱い方	22
電池残容量の確認	22
保護回路作動/電池切れ	23
ダストバッグカバーの取外し、取付け	24
ダストバッグと紙パックについて	25
ダストバッグの取付け方	25
紙パックの取付け	27
ゴミの捨て方	28
作業例	29
性能を維持するために	32
アフターサービスについて	33
故障かなと持ったら	34

各部の名称

【本体および付属品】



【別売部品】



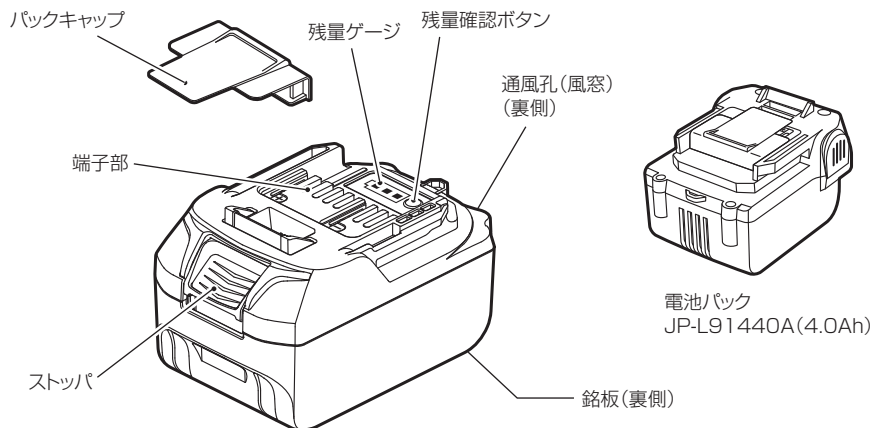
【別売品】

【電池パック】

リチウムイオン電池パック

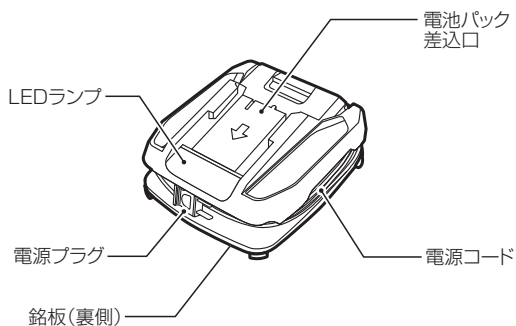
(JP-L91850A・JP-L91825A・JP-L91440A・JP-L91415A)

※イラストはJP-L91850A・JP-L91440A



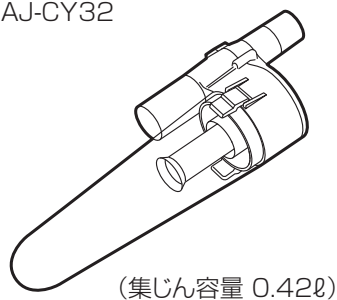
【充電器】

リチウムイオン充電器(JC-925A)



【サイクロン式集塵ユニット】

AJ-CY32



微細な粉じんなどの吸込みに
ダストバッグまたは紙パックの目詰まりを防ぎ、
使用後のお手入れが簡単になります。

▲ 安全作業のために

指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意**、**ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、**▲ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

ご注意

製品、付属品の取扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 警告

安全作業のために:

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・ 指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・ 指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱の恐れがあります。

2. 正しく充電する。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災の恐れがあります。
- ・ 温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

3. 電池パックの端子間を短絡(ショート)させない。

- ・ 電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡(ショート)して発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

4. 感電に注意する。

- ・ ぬれた手で充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

5. 作業場の周囲状況も考慮する。

- ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 警告

6. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。
 - ・ 使用しない、又は修理する場合。
 - ・ 本機の調整をする場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
不意に充電工具が作動して、事故やけがの原因になります。
7. 不意な始動は避ける。
 - ・ スイッチに触れた状態で運ばないでください。
 - ・ 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
不意に充電工具が作動して、事故の原因になります。
8. 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
 - ・ この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。
9. 電池パックを火中に投入しない。
 - ・ 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
10. 電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
 - ・ 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・ 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・ 液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
すぐに販売店にご相談ください。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。
12. 充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
13. 異常を感じたら絶対に使用しない。
 - ・ スイッチが入らない、回転が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらなくて、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 注意

- 1. 作業場は、いつもきれいに保つ。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2. 子供を近づけない。**
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
- 3. 使用しない場合は、きちんと保管する。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - ・ 充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 4. 無理して使用しない。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 5. 作業に合った充電工具を使用する。**
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
 - ・ 充電工具の最大能力を超えた作業はしないでください。
けがの原因になります。
- 6. きちんとした服装で作業する。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 注意

7. 充電工具は、注意深く手入れをする。

- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
けがの原因になります。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わない。

- ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。

9. 無理な姿勢で作業をしない。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

10. 屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・ 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

11. 油断しないで十分注意して作業を行う。

- ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
軽率な行動や非常識な行動などすると事故やけがの原因になります。

⚠ 注意

12. 損傷した部品がないか点検する。

- ・使用前に、ダストバッグカバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・破損したダストバッグカバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

13. 充電工具の修理は、専門店で依頼する。

- ・サービスマン以外の方は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、マックスエンジニアリングサービス㈱へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下で使用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。

⚠ 充電式ハンディクリーナーの安全上のご注意

⚠ 警告

1. 次のような物は吸わせない。
 - ・ 灯油、ガソリン、たばこの吸殻、引火性の気体、水や液体などは、火災の原因になります。
 - ・ 除湿剤、多量の粉体（消火器の粉など）、ペットなどの排泄物がついたもの、湿ったゴミ、金属粉、ガラス、ピン、針、つまようじなどは故障の原因になります。
2. ファンの回転部には絶対に触れない。
 - ・ 怪我をする恐れがあります。
3. 機体の吸込み口、排気口をふさいだ状態で使用しない。
 - ・ モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損などの故障の原因になります。
4. 水洗いや風呂場での使用は絶対にしない。
 - ・ 感電する場合があります。
5. 高所作業の時には下に人がいないことをよく確認する。また、本機落下防止の為、ストラップに手を通して使用する。
 - ・ 材料や本機を落したときなど、事故の原因になります。
6. 純正品以外の紙パック、ダストバッグを使用しない。
 - ・ 純正品以外の紙パック、ダストバッグを使用すると故障・発火の原因になります。
7. 本機を延長管を持って運ばない。
 - ・ 延長管を持って運ぶと本体の接続が外れて落下する恐れがあります。
8. 定期的にダストバッグ、スポンジフィルタの手入れをする。
 - ・ ダストバッグ、スポンジフィルタの手入れをせずに使い続けると、異臭や故障の原因になります。
9. 微細な粉塵を吸込むときは、ダストバッグではなく紙パックを使用する。
 - ・ ダストバッグを使用してコンクリート粉や石膏ボード粉等の微細な粉塵を吸込むと、モータ内部に粉塵が入り込み、故障の原因になります。

仕様及び1充電での作業量（参考値）

商 品 名	マックス充電式ハンディクリーナー		
商 品 記 号	PJ-HC62		
寸 法	L 970 mm × W 121 mm × H 139 mm (電池パックなし、延長管/ワイドノズル取付時)		
質 量	0.95kg (電池パック除く)		
電 圧	14.4V / 18V		
対 応 電 池 パ ッ ク (別販売品)	JP-L91850A (5.0Ah) JP-L91825A (2.5Ah) JP-L91440A (4.0Ah) JP-L91430A (3.0Ah) JP-L914 (3.0Ah) JP-L91415A (1.5Ah) JP-L91415 (1.5Ah)		
対 応 充 電 器 (別販売品)	JC-925 JC-928 JC-925A		
連続使用時間	JP-L91850A (5.0Ah使用時)	強	約25分
		弱	約50分
	JP-L91825A (2.5Ah使用時)	強	約13分
		弱	約25分
	JP-L91440A (4.0Ah使用時)	強	約25分
		弱	約50分
	JP-L91430A (3.0Ah使用時)	強	約20分
		弱	約37分
	JP-L914 (3.0Ah使用時)	強	約20分
		弱	約37分
	JP-L91415A (1.5Ah使用時)	強	約10分
		弱	約17分
	JP-L91415 (1.5Ah使用時)	強	約10分
		弱	約17分
集 塵 容 量	ダストバッグ	0.5 ℓ	
	紙パック	0.33 ℓ	
吸 込 仕 事 率	18V 電池パック 使用時	60W	
	14.4V 電池パック 使用時	30W	

※吸込仕事率はゴミの入っていない状況での測定結果です。

溜まっているゴミの量や目詰まりなどの原因により、吸込仕事率は低下する場合があります。

電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- 昇圧器などのトランス類、直流電源や指定以外の発電機では使用しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

充電方法

お買い上げ時の電池パックについて

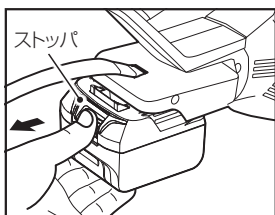
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠ 警告

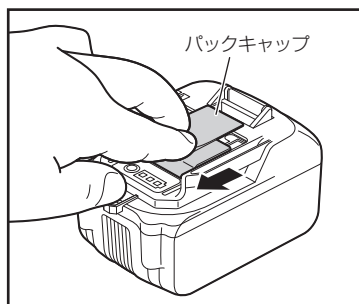
- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。
- 電池パックを工具に取付け、取外しをするときは、スイッチをOFFにした状態で行う。

一度使用されて電池パックを工具に取付けている場合

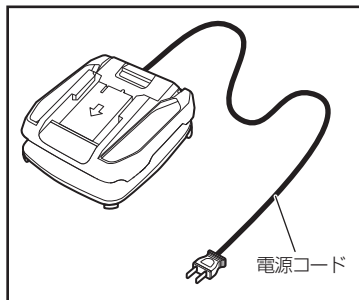
工具より電池パックを取外します。正面にあるストッパを押し下げて、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。

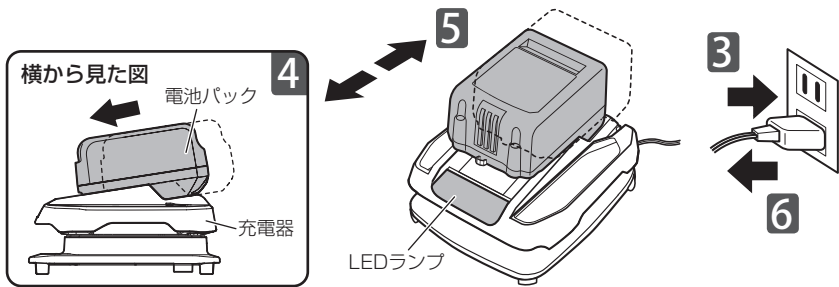


- 1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のパックキャップを外してください。

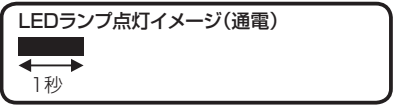


- 2 充電器に巻いてある電源コードを丁寧に伸ばしてください。





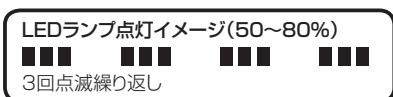
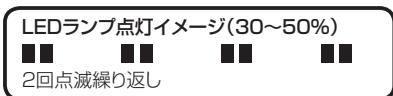
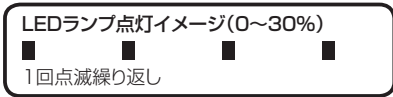
3 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。LEDランプが1秒間点灯し、通電状態をお知らせします。



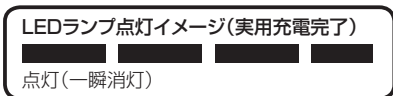
4 電池パックを充電してください。

①電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたりカチッというまでしっかりとスライドさせます。このとき、電池パックのストッパが充電器にしっかり掛かっていることを確認してください。

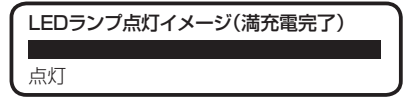
②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電を開始すると、充電済みの容量に応じてLEDランプが下の3パターンで点滅します。



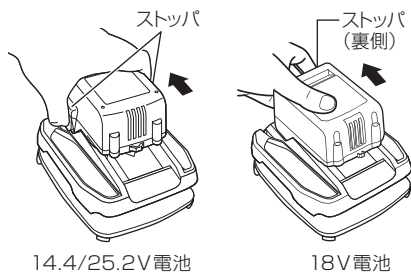
③LEDランプが下の表示に変わったら実用充電完了です。この状態で電池パックの容量の約80%充電されています。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプが点灯になれば満充電完了(容量の約100%)です。



5 充電が完了したら、ストッパを押しながらか電池パックを充電器から抜き取ってください。



6 電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電時のLEDランプ表示について

本機では、本体正面の大型LEDランプにて、以下の9種類の充電状態を表します。



	LEDランプ	状態	内容
①	1秒点灯	充電器通電	電源プラグをコンセントに差し、充電準備ができました。
②	(消灯)	待機中	
③	1回点滅繰り返し	充電中	容量の約0～30%の充電が完了しました。
④	2回点滅繰り返し	充電中	容量の約30%の充電が完了しました。
⑤	3回点滅繰り返し	充電中	容量の約50%の充電が完了しました。
⑥	点灯(一瞬消灯)	実用充電完了	容量の約80%の充電が完了しました。ご使用いただけます。
⑦	点灯	満充電完了	満充電が完了しました。
⑧	明暗繰り返し	温度待機中	電池パックが低温または高温のため、充電待機中です(充電していません)。
⑨	点滅繰り返し	充電エラー	電池パック、または充電器に異常があります。

注意

⑧の「温度待機中」が表示された場合

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っているとき(例: 工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たるところに長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。使用しないで放置したり日陰に置くなどして電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温(5℃未満)の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所に置くなどして電池パックの温度が上がると、自動的に充電がスタートします。

⑨の「充電エラー」が表示された場合

充電できない状態です。

- ・この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか、また濡れていないか確認してください。もし異物が入っていたり濡れていたりした場合には、柔らかい布等でふき取ってください。
- ・LEDランプが点滅し続けるときは、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックが充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。
- ・それでもLEDランプが点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

電池パックをセットしても③～⑨の表示にならない場合

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません(LEDランプも点灯しません)。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

その他の注意事項

- ・満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び③～⑥の表示になることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の⑦の表示になります。
- ・充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
- ・電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分以上休ませてください。

充電時の故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

- ・ 充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差込んでも、「充電器通電」の表示にならない。
- ・ 電池パックをセットしても、充電を開始しない。
- ・ 「温度待機中」の表示後、温度環境を改善して1時間以上たっても充電を開始しない。
- ・ 充電を開始して4時間以上経過しても「実用充電完了」または「満充電完了」に切り替わらない。

壁掛けについて

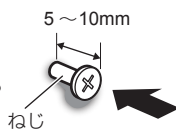
本機は壁に掛けて使用することができます。

⚠ 注意

本機や電池パックの落下を防ぐために、以下を必ず守る。

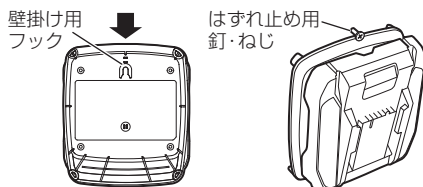
- ・ 壁掛け用のねじ・釘は、抜けたり曲がったりしないよう注意してください。柔らかい部材や不安定な部材に留め付けたり、細すぎるねじ・釘を使用すると、本機が落下しけがや事故の原因となります。
- ・ 本体のはずれ止め用に、掛け部とは別にもう1本のねじ・釘を使用してください。
- ・ はずれ止め用ねじ・釘を取付ける場合、電源コードに傷をつけないよう注意してください。
- ・ 電池パックはロックされるまでしっかりとセットしてください。
- ・ 電池パックの抜き差しは、必ず両手で行ってください。
- ・ 電源コードを引っ掛けないように注意して配線してください。

- 1** 掛ける部材にねじ・釘を5~10mm程度浮かせて留めつけてください。



使用釘・ねじ	長さ
N・C N釘	65~90mm
コーススレッドねじ	41~90mm

- 2** 留め付けた釘・ねじに、本体裏側の壁掛け用フックを掛け、その後はずれ止め用の釘・ねじを追加して留め付けます。



- 3** 電池パックのセット時には必ず電池パックのストッパがロックされるまでしっかりと奥まで差込んでください。また抜き差しは必ず両手で行ってください。



電源コードの巻き付け収納について

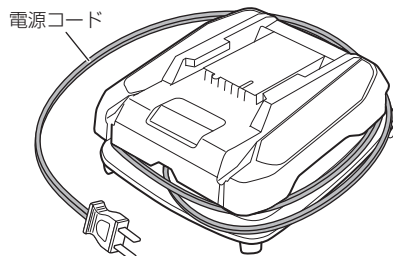
本機は電源コードを本体に巻きつけて保管することができます。

⚠ 注意

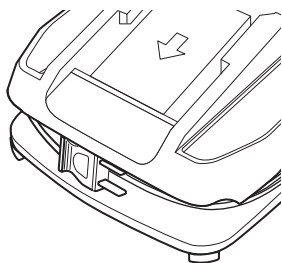
電源コードを乱暴に扱わない。

- ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたり、巻き取ったコードを無理に引っ張ってほどこないでください。
- ・ 電源コードを熱・油・角のつがったところに近づけないでください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・ 充電器を充電工具のケースへ収納する際には、はさみ込みに注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

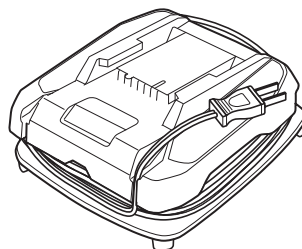
- 1** 本体側面の溝に沿って電源コードを巻きつけてください。その際に無理に電源コードを引っ張ったりしないでください。



- 2** 電源プラグおよび電源コードの固定方法は2通りあります。巻き取った際の電源プラグの位置によって、お好みの方法で固定して収納してください。



本体前面の奥のスペースに入り込ませる



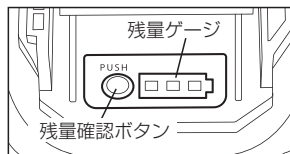
本体背面の電源コード固定部を通す

電池残量表示について (JP-L91850A・JP-L91440A)


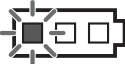



本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

- ①電池残量を確認したい時(充電中または充電工具運転中以外)に、残量確認ボタンを押してください。

※JP-L91440Aの残量ゲージ・残量確認ボタンは電池パック前面にあります。



- ②その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

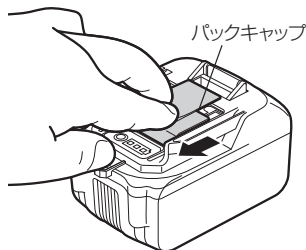
ご注意

- 充電終了直後や工具の運転直後は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。
- 満充電完了前に電池パックを充電器から抜くと、1秒程度残量ゲージが点灯することがありますが、故障ではありません。
- 電池パックの端子が濡れた状態で残量確認ボタンを押すと、残量ゲージが左から右へ流れ点灯します。この表示となった時には必ずしっかり乾燥させてから使用を再開してください。

電池パックを長持ちさせるために(保管方法)

⚠ 警告

- 使用後は、本機から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



ご注意

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電してください。すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電してください。無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しないでください。高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。
- 使い切った状態のまま電池パックを保管しないでください。充電が空の状態でも長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。
- 電池パックを本機や充電器に装着したまま保管しないでください。微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

電池パックの寿命について

正しく充電しても打込み本数が著しく低下した場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点を注意してください。

⚠ 警告

- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックス販売拠点・マックスエンジニアリングサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずパックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。

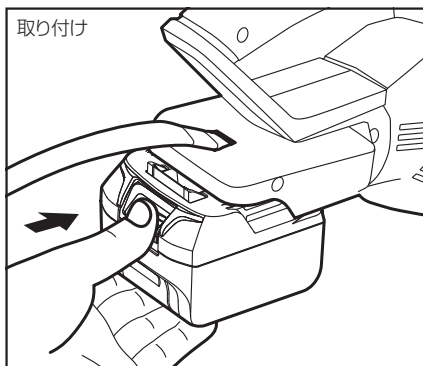


Li-ion
リチウムイオン
電池はリサイクルへ

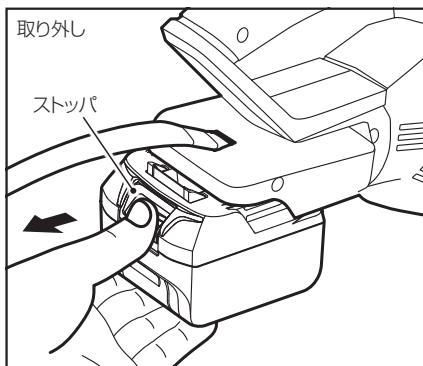
⚠ 警告

- 電池パックの取り付け・取外しをする前に、必ずトリガをロックし、トリガに指をかけない。
- 電池パックの取り付け・取外しをするときに、射出口を絶対に人体に向けない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して、けがなどするおそれがあります。

取り付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。






電池パックを本機から取外すときは、後ろ側にあるストッパを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。



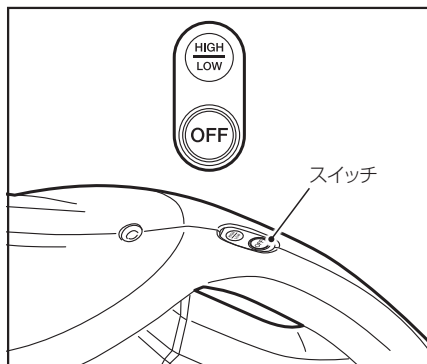
使用方法

■スイッチの扱い方

- ・ スイッチは  を押すと入り、  を押すと切れます。
 - ・ 吸込みの強さを『HIGH』『LOW』の2段階に切換えできます。
-  を押すごとに『HIGH』→『LOW』→『HIGH』…の順に切り替わります。

ご注意

- 本商品には本体制御用の電子回路が搭載されています。そのためスイッチを入れた後、モーター起動が一瞬遅れますが、故障ではありません。



■電池残容量の確認

- ・ 初期設定は電池切れの場合のみLEDランプが5秒間赤点滅してお知らせします。
- ・ 使用電池 (18V/14.4V) ごとに電池残量を確認したい場合は下記操作を行うことで目安を表示させることができます。

スイッチOFFの状態
OFFボタン・ONボタンの順で同時に2秒長押し

▼

緑ランプが2回点灯し、
18Vでの残量表示が表の通りに表示されます。

▼

スイッチOFFの状態
OFFボタン・ONボタンの順で同時に2秒長押し

▼

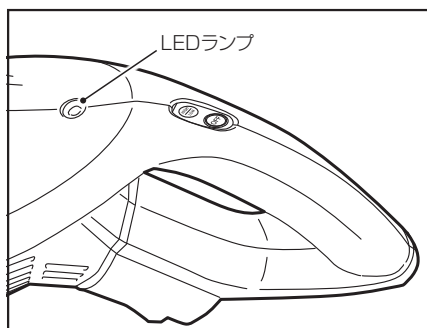
緑ランプが3回点灯し、
14.4Vでの残量表示が表の通りに表示されます。

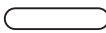



▼

スイッチOFFの状態
OFFボタン・ONボタンの順で同時に2秒長押し

▼

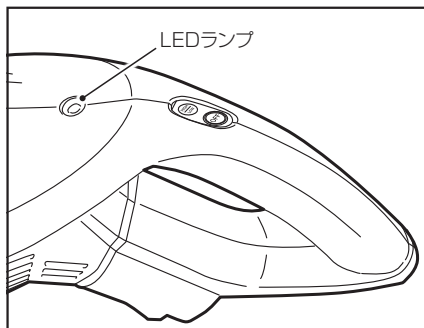
緑ランプが1回点灯し、
初期設定の表示に戻ります。



LEDランプ表示	電池状態
表示なし 	満充電～40%
緑 点灯 	残量40%～10%
赤 点灯 	残量10%～電池切れ
赤 点滅 	電池切れ

■保護回路作動 / 電池切れ

- ・ 本機には本体および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また、電池切れの場合も動きません。本体が動かないときは、スイッチを入れLEDランプの点灯状態を確認のうえ、原因を取除いてください。

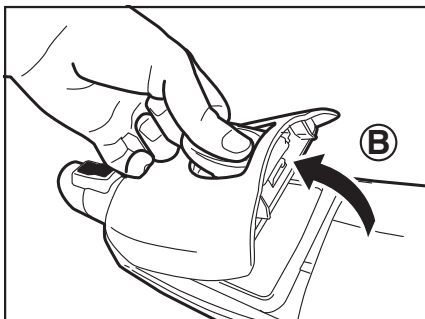
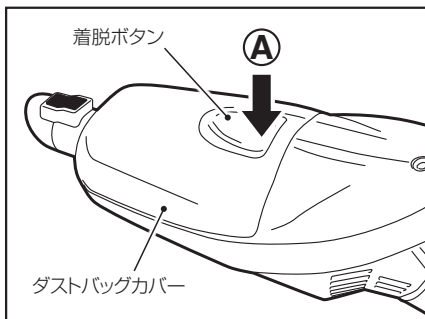


本体が動かなくなった				
LEDランプ表示	赤 点滅	オレンジ 点灯	オレンジ 点滅	赤・緑 交互点滅
原因	電池切れ	モーターの冷却が十分に行われていない (ダストバッグ・紙パックのゴミが一杯になっている、目詰まりしている)	電池パックの温度が高い	モーター・ファン等の内部に異物が侵入し、正常作動を妨げている可能性があります。
処置	充電する	ゴミを捨てる 紙パックを交換する モーターを冷却する	電池パックを冷却する	▼
処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、マックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。				

■ダストバッグカバーの取外し、取付け

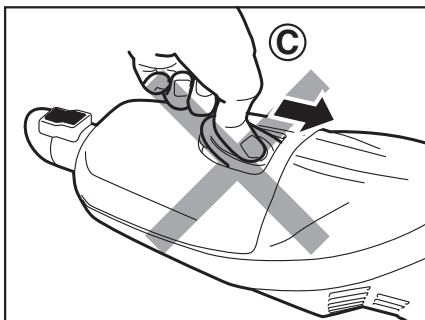
(取外し)

- ・ダストバッグカバーの着脱ボタンの①部を押し、着脱ボタンをつまみながら②の方向へダストバッグカバーを開けて取外します。



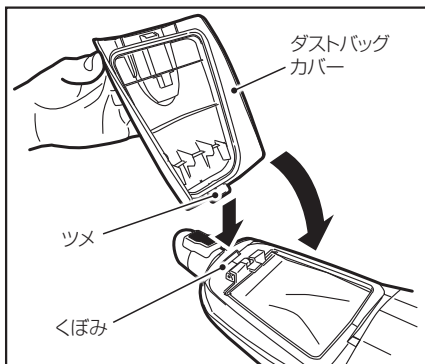
ご注意

- ダストバッグカバーの着脱ボタンを③の方向へ強く引っ張らないでください。着脱ボタンが脱落する恐れがあります。



(取付け)

- ・ダストバッグカバーのツメを本体のくぼみに差し込んだ後、ダストバッグカバーをカチッと音がするまで閉めてください。



■ダストバッグと紙パックについて

- ・ ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取付けてご使用ください。

ダストバッグ：比較的大きなゴミなどの吸込みに。

紙パック：微細な粉塵などの吸込みに。

- ・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。
- ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミが溜まりましたら紙パックごと捨ててください。
- ・ 逆止板はダストバッグまたは紙パックのどちらを取付ける場合も使用します。

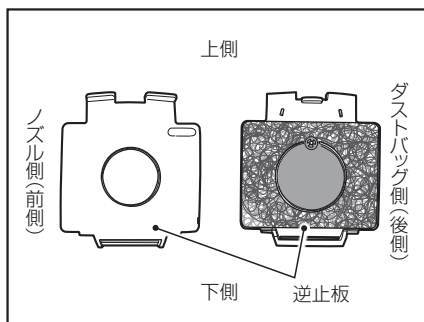
ご注意

- 紙パックは目が細かく、細かい粉じんなどを吸込むと目詰まりを起こしやすくなります。目詰まりを起こすと吸込み力が極端に低下するため、こまめに交換してください。
- サイクロンユニットを取り付けて使用するときも、ダストバッグまたは紙パックを取り付けてご使用ください。

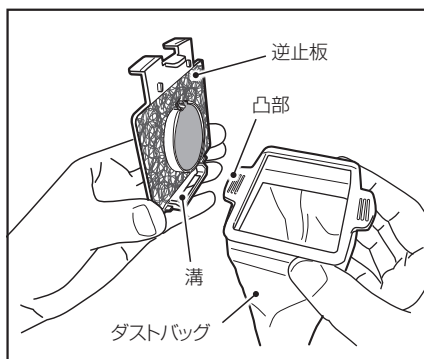
■ダストバッグの取付け方

- ・ ダストバッグの取付けには逆止板を使用します。上下方向の区別がありますので気をつけてください。

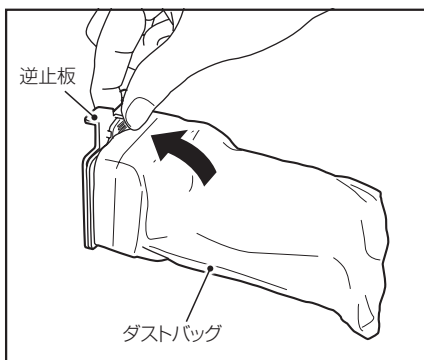
- ①ダストバッグカバーを取外します。



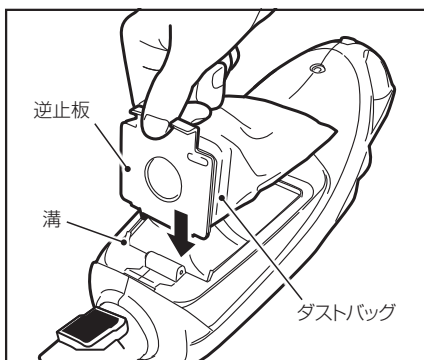
- ②逆止板下側の溝にダストバッグの凸部を差し込みます。(ダストバッグには上下の区別はありません。)



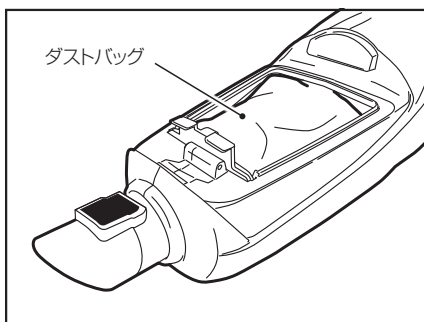
- ③ 逆止板とダストバッグの枠を重ね合わせます。



- ④ 逆止板とダストバッグをいっしょに本体の溝に奥までしっかり差し込みます。



- ⑤ ダストバッグの布側を本体ケースに入れます。



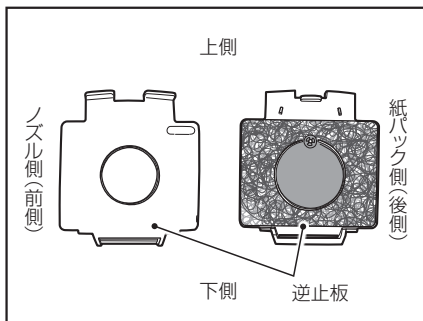
ご注意

- ダストバッグを入れ忘れり、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたダストバッグをしまいますとモーター故障の原因になります。
- ⑥ ダストバッグカバーを取付けます。

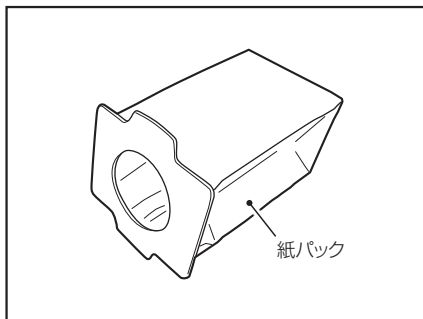
■紙パックの取付け

- 紙パックの取付けにも逆止板を使用します。上下方向の区別がありますので気をつけてください。

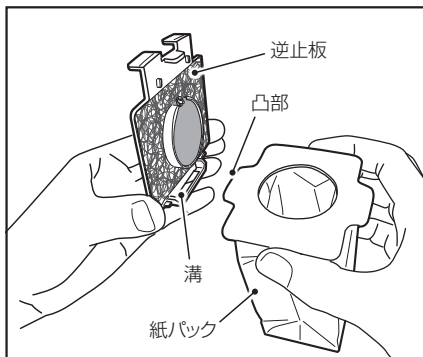
①ダストバッグカバーを取外します。



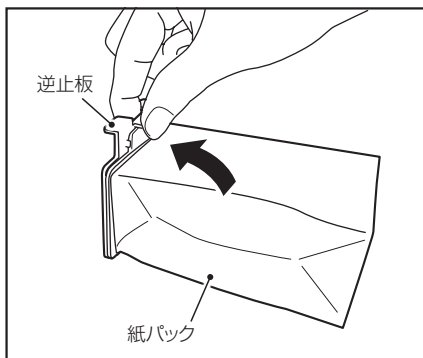
②逆止板にセットする前に紙パックを広げてください。



③逆止板下側の溝に紙パックの凸部を差し込みます。(紙パックには上下の区別はありません。どちらか一方の凸部をさし込んでください。)



④逆止板と紙パックの枠を重ね合わせます。



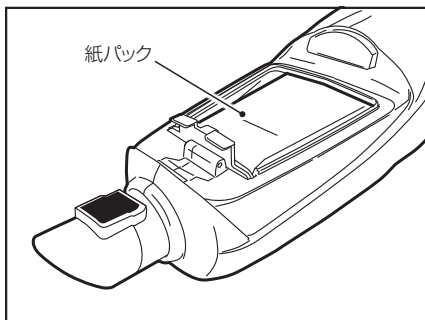
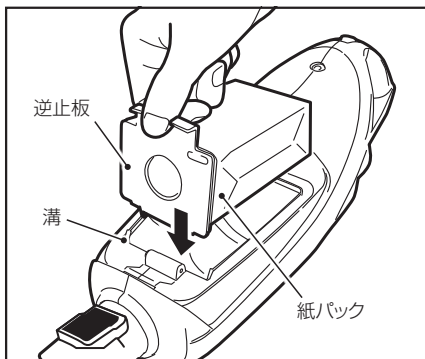
⑤ 逆止板と紙パックをいっしょに本体の溝に奥までしっかり差し込みます。

⑥ 紙パックの袋側を本体ケースに入れます。

ご注意

- 紙パックは使い捨てです。ゴミが溜まりましたら紙パックごと捨ててください。
- 紙パックは目が細かく、細かい粉じんなどを吸込むと目詰まりを起こしやすくなります。目詰まりを起こすと吸込み力が極端に低下するため、こまめに交換してください。

⑦ ダストバッグカバーを取付けます。



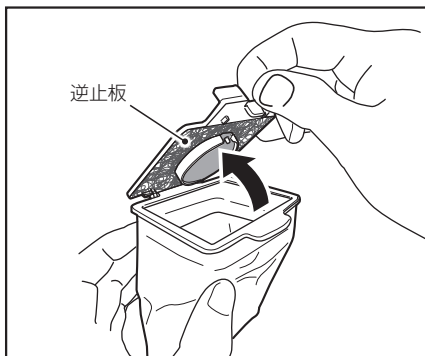
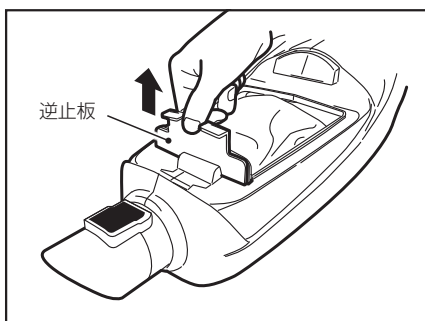
■ゴミの捨て方

- ① ダストバッグカバーを外します。
- ② 逆止板とダストバッグまたは紙パックをいっしょに引抜きます。
- ③ 逆止板を取外してからダストバッグの中のゴミを捨ててください。紙パックは紙パックごと捨ててください。

本体ケース内および逆止板に残ったゴミ、ほこりは、別の掃除機などを使用して丁寧に取除いてください。

ご注意

- 逆止板を誤って捨てないでください。



■作業例

⚠ 警告

1. 次のような物は吸わせない。

- ・ 灯油、ガソリン、たばこの吸殻などは、火災の原因になります。
- ・ 除湿剤、多量の粉体（消火器の粉など）、ペットなどの排泄物がついたもの、水や液体、湿ったゴミ、金属粉、ガラス、ピン、針、つまようじなどは故障の原因になります。

2. ファンの回転部には絶対に触れない。

- ・ 怪我をする恐れがあります。

3. 機体の吸込み口、排気口をふさいだ状態で使用しない。

- ・ モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損などの故障の原因になります。

4. 水洗いや風呂場での使用は絶対にしない。

- ・ 感電する場合があります。

ご注意

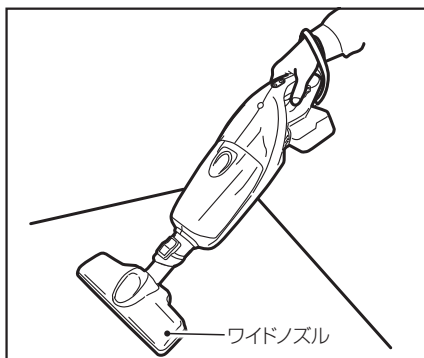
- ゴミを溜めすぎると吸引力が低下しますので、早めにゴミを捨ててください。

● ちょっとした掃除に

こぼした粉などの吸込みは直接本体吸込口で吸込んでください。

● ワイドノズル

テーブル、家具、棚などの上を掃除するとき、ワイドノズルを本体吸込口に直接差し込んで使用してください。



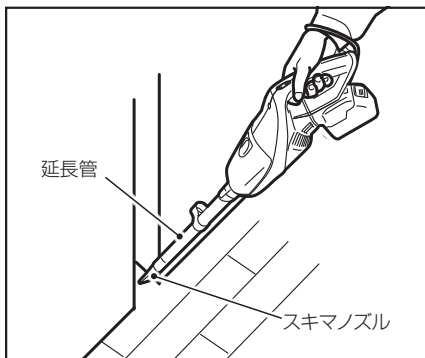
● ワイドノズル+延長管

畳、じゅうたん、床など低い所を掃除するとき、本体吸込口とワイドノズルの間に延長管を差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除できます。



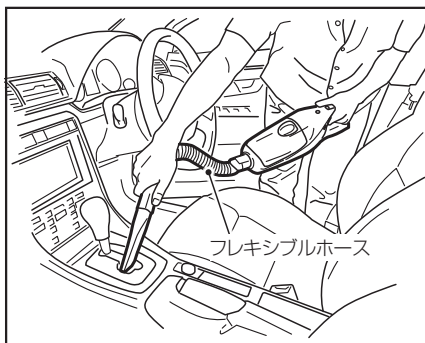
●スキマノズル+延長管

家具の奥など本体があたって入らないときや高い所のすき間などを掃除するときは、スキマノズルと本体吸込口の間に延長管を差し込んで使用してください。



●フレキシブルホース (別販売品)

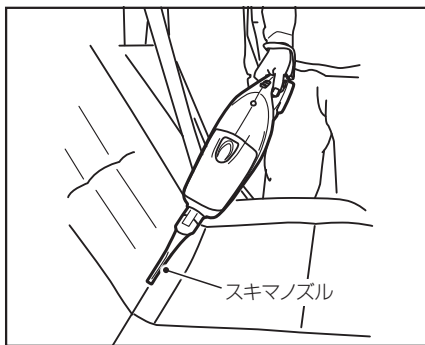
車内など狭い場所や家具の奥など本体があたって入らない所を掃除するときは、柔軟性のあるフレキシブルホースを本体吸込口に差し込んで使用してください。
(フレキシブルホース+スキマノズル使用)



●スキマノズル

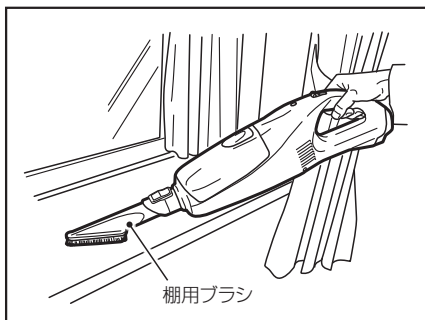
車内や家具のすき間およびサッシの溝などを掃除するとき、スキマノズルを本体吸込口に直接差し込んで使用してください。

※小石は吸込めない場合があります。



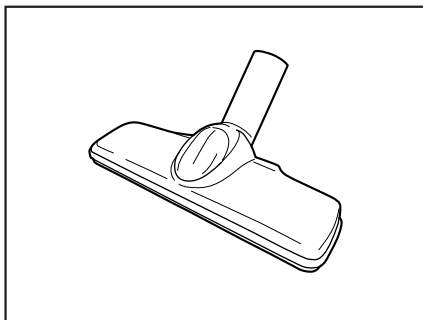
●棚用ブラシ (別販売品)

棚や家具と家具の間の狭い所の掃除に、棚用ブラシを本体吸込口に直接差し込んで使用してください。



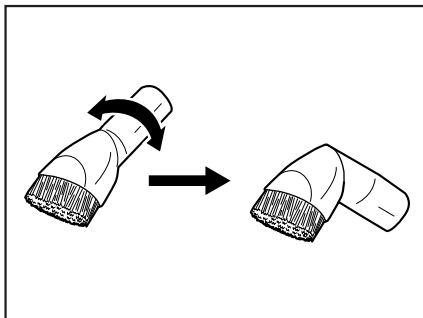
●じゅうたん用ブラシ (別販売品)

じゅうたんに付いた糸くずなどを取るのに
便利です。



●丸ブラシ (別販売品)

ヘッドが回るので網戸の掃除などに便利
です。



性能を維持するために

■本機の手入れ

⚠ 警告

- 本機の点検・手入れの際は、必ず電池パックを本体から外す。
電池パックを本機に取り付けたまま行くと事故の原因になります。
- 充電器（別販売品）の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

●使用後の手入れ

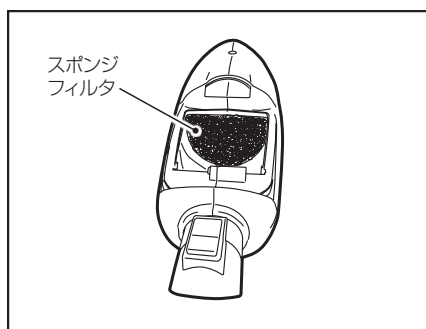
- ・本機の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は本機を傷めますので使用しないでください。

本機内部に液体が入らないように、また、本機を液体に浸けないように十分注意してください。

- ・ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分乾かしてから使用してください。



- ・粉じんを捨て、ダストバッグ洗浄後でも吸引力が弱い場合は、スポンジフィルタの汚れを取除いてください。本体からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いをしてください。水洗いをした場合は、十分乾かしてから本体に取付けてください。スポンジフィルタを入れ忘れて、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたスポンジフィルタをしまいますとモータ故障の原因になります。



■各部取り付けねじの点検

本機のねじが緩んでいないか点検してください。

もし、緩んでいたらマックスエンジニアリングサービス(株)へお買い求めの販売店を通じて修理・点検に出してください。

■作業後の保管

- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。
- 立て掛けて保管するときは、吊り金具などにストラップを引っ掛けてください。何も固定せずに立て掛けておくと倒れて故障の原因になります。
- 電池パック(別販売品)を長持ちさせる為に、長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合は、下記のことにご注意して保管してください。

ご注意

- 充電してから保管する。
- 温度が50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡(ショート)を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取り外して保管する。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復に十分な技術と設備を有するマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次の点をお調べください。

症 状	調べること	直し方
吸引力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックが正しく取付けてありますか。	・正しく取付けてください。
	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。	・ゴミを捨ててください。
	・サイクロン式ユニットのゴミが一杯になっていませんか。	・ゴミを捨ててください。
	・ダストバッグが目詰まりしていませんか。	・ダストバッグをはたかか、水洗いをしてください。
	・紙パックが目詰まりしていませんか。	・紙パックを交換してください。
	・サイクロン式ユニットのセンターノズルが目詰まりしていませんか。	・センターノズルを取外して、水洗いをしてください。
	・スポンジフィルタが汚れていませんか。	・スポンジフィルタをはたかか、水洗いをしてください。
	・電池残量がなくなっていないですか。	・充電してください。
	・ノズルにゴミが詰まっていますか。	・詰まっているゴミを取除いてください。
動かない	・電池残量がなくなっていないですか。	・充電してください。
	・LEDランプが点灯、点滅していませんか。	・LEDランプの状態を確認し、原因を取り除いてください。(23ページ参照)
	・スイッチを入れてもLEDランプが全く点灯しない。	・直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店へお持ちください。
充電できない	・電源プラグは電源コンセントに差し込まれていますか。	・電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
	・電池パックは充電器に確実に差し込まれていますか。	・電池パックを充電器に確実に差し込んでください。
	・満充電できない。	・新品または長期間使用しなかった電池パックは、使用→充電を2~3回繰り返してください。
		・使用直後など熱い場合は、電池パックが十分冷えてから充電してください。
・充電器のコードが傷ついていませんか。	・直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店へお持ちください。	

これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

マックス株式会社

●販売拠点等

本社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札幌支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙台支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多摩営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東関東営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千葉営業所	〒260-0831	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL (043) 223-5859
群馬営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長野営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新潟営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静岡支店	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大阪支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0253
京滋営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神戸営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4 ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖縄営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098) 875-3577
広島支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
東日本受注センター	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (0120) 166-199
西日本受注センター	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (0120) 113-850
マックス販売株式会社本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横浜営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金沢営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡山営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四国営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松山営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1 白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0265
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4102739
210108-00/00

便利メモ

お名前				商品名	PJ-HC62
お買い上げ日	年	月	日	製造番号	
販売店名	☎				

MAX

取扱説明書

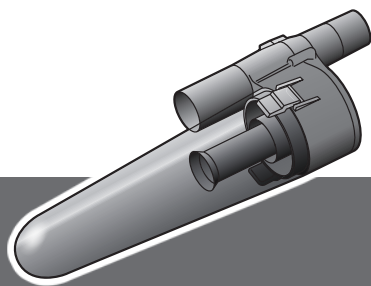
このたびは、マックスサイクロン式集塵ユニットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

▲ 警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では使用しない。
- 使用中は、回転部や切りくずなどに手や顔などを絶対に近づけない。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置、保管しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に分解・改造しない。

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

マックス
サイクロン式集塵ユニット
AJ-CY32



⚠ 安全作業のために

指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。

■サイクロン式集塵ユニットについて

付属品のサイクロン式集塵ユニットを取付けて使用すると、ダストバッグまたは紙パックの目詰まりを防ぎ、使用後のお手入れが簡単になります。

ご注意

- サイクロン式集塵ユニットを使用するときも、ダストバッグまたは紙パックを取付けてご使用ください。
- ダストバッグまたは紙パック内のゴミは捨てておいてください。ゴミが溜まっていますと吸引力の低下の原因になります。

(取付け)

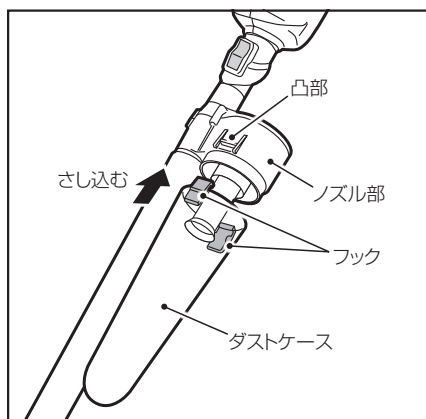
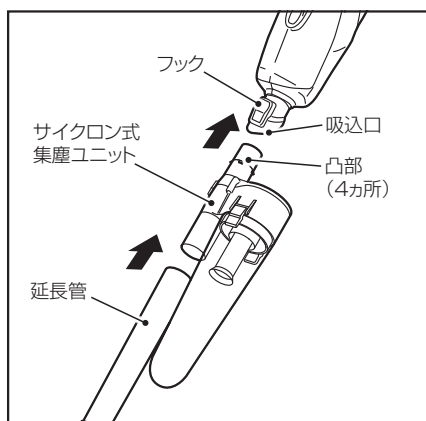
- ・サイクロン式集塵ユニットを本体の吸込口にさし込んで取付けます。この時、吸込口のフックにサイクロン式集塵ユニットの凸部を合わせて、フックが「カチッ」と音がするまでさし込んでください。サイクロン式集塵ユニットが固定されます。
※凸部は4ヶ所あります。90°毎にサイクロン式集塵ユニットの向きを変えることができます。用途に合わせて取付けてください。

ご注意

- 取付け後、サイクロン式集塵ユニットを軽く引っ張って、外れないことを確認してください。
- ・延長管、ワイドノズルなどを取付けて使用します。
- ・ダストケースのフック（両側）とノズル側の凸部を合わせて矢印方向にダストケースをさし込みます。

ご注意

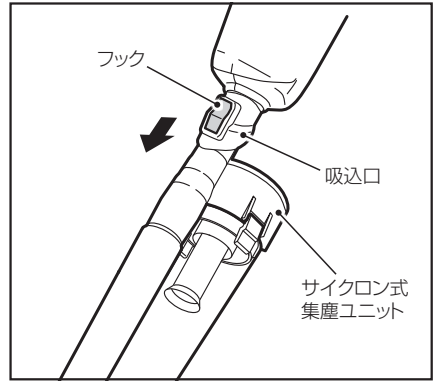
- 取付け後、ダストケースを軽く引っ張って、外れないことを確認してください。



⚠ 安全作業のために

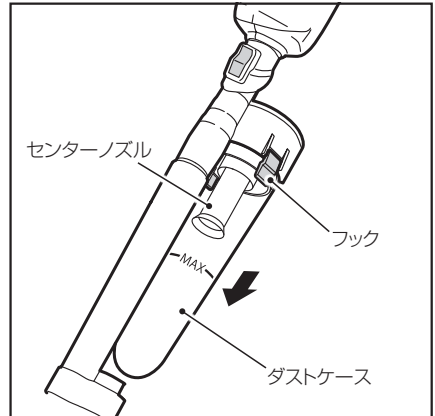
(取外し)

- ・ 吸込口のフック (矢印部分) を押えて、サイクロン式集塵ユニットを矢印方向に引いて取外します。



(ゴミの捨て方)

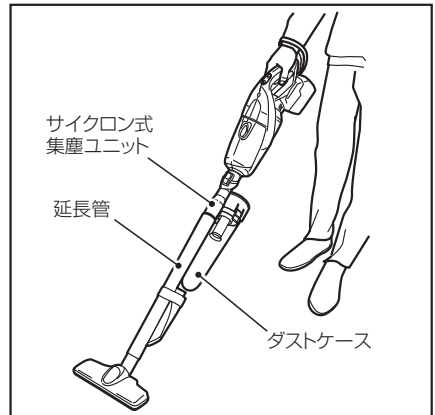
- ・ ダストケースのMAX位置までゴミが溜まりましたら以下の要領で捨ててください。
 - ①ダストケースのフック (両側) の矢印部分を押えたまま、ダストケースを矢印方向に引いて取外します。
 - ②ダストケース内のゴミを捨て、センターノズルの表面に付着した粉じんを取除いてください。



- ・ 微細な粉じんなどの吸込みに取付けて使用すると、ダストバッグまたは紙パックの目詰まりを防ぎ、使用後のお手入れが簡単になります。

ご注意

- ノズルを上向きにしないでください。ダストケースに溜まったゴミがダストバッグまたは紙パックに移動し、目詰まりの原因になります。

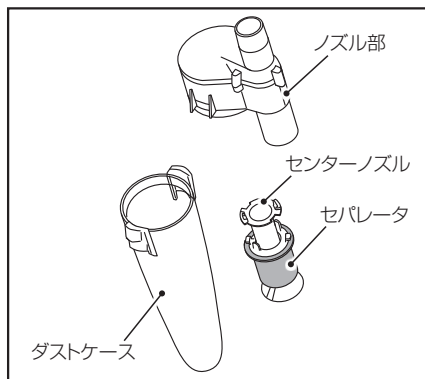


分解・清掃方法

- ・ ダストケースの汚れやセンターノズルが目詰まりしている場合は、右図のように分解して水洗いをしてください。

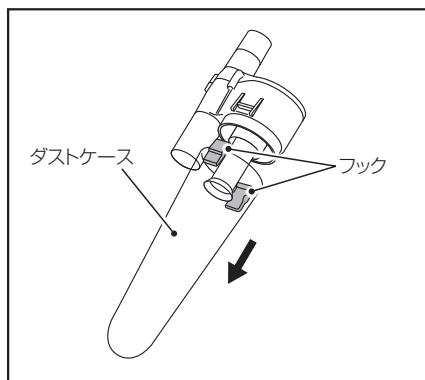
ご注意

- 水洗い後は、十分乾かしてから組み立てて使用してください。

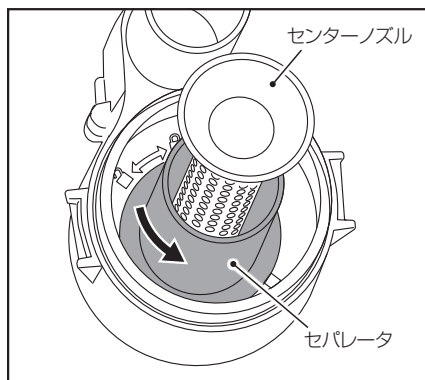
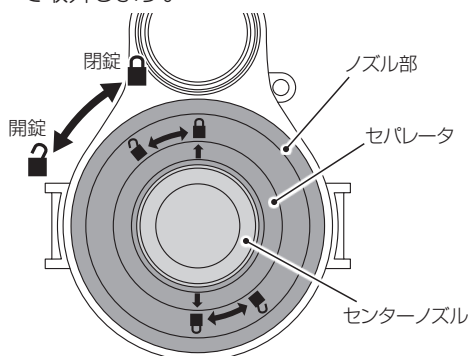


(分解)

- ① ダストケースを取外します。
ダストケースのフック (両側) 矢印部分を押えたまま、ダストケースを矢印方向に引いて取外します。



- ② センターノズルを取外します。
センターノズルを開錠 (🔓) 方向に回して取外します。

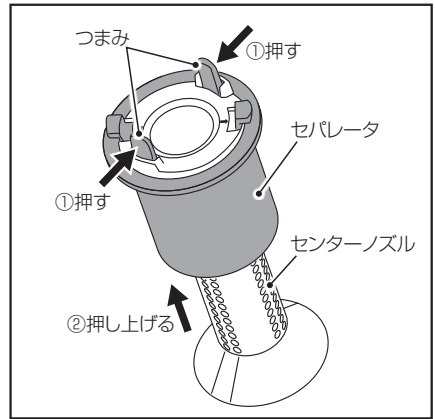
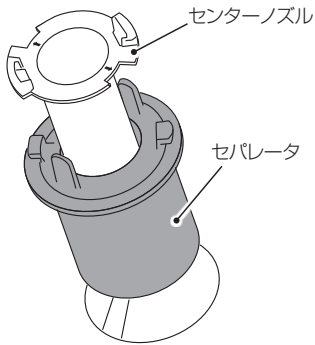


③センターノズルとセパレータの固定を解除します。

セパレータのつまみ（両側）を矢印方向に押したまま、センターノズルを押し上げて固定を解除します。

ご注意

●セパレータからセンターノズルを抜き取ることはできません。



・ノズル部、センターノズル、セパレータ、ダストケースを水洗いし、汚れ、目詰まりなどを取り除いてください。

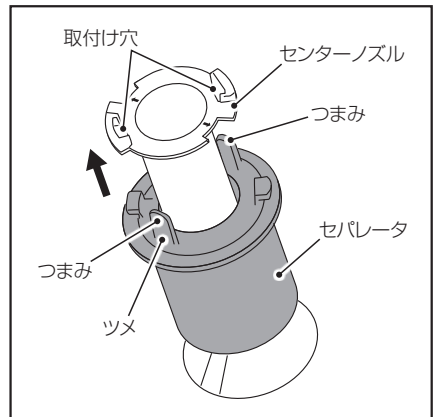
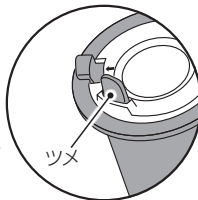
(組立)

①セパレータを固定します。

セパレータのつまみをセンターノズルの取付け穴にさし込んで固定します。

ご注意

●つまみのツメがセンターノズルに掛かっていることを確認してください。

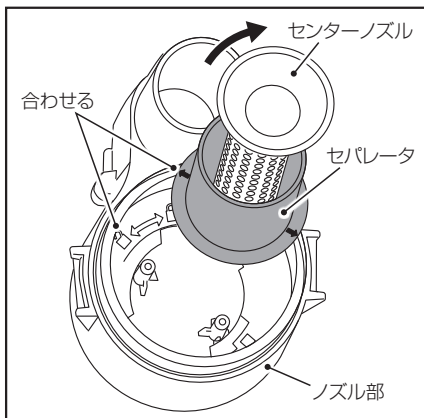
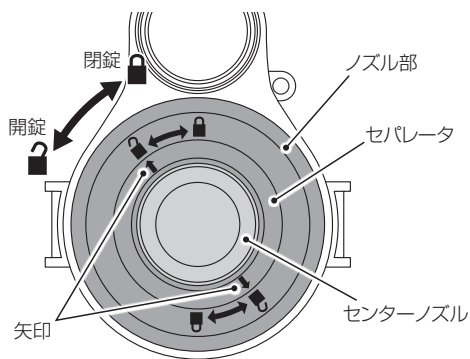


- ② ノズル部にセンターノズルを取付けます。

セパレータの矢印(↑)をセンターノズルの開錠(🔓)に合わせてさし込み、センターノズルを閉錠(🔒)方向に回して取付けます。

ご注意

- 「カチッ」と音がし、センターノズルが固定されたことを確認してください。

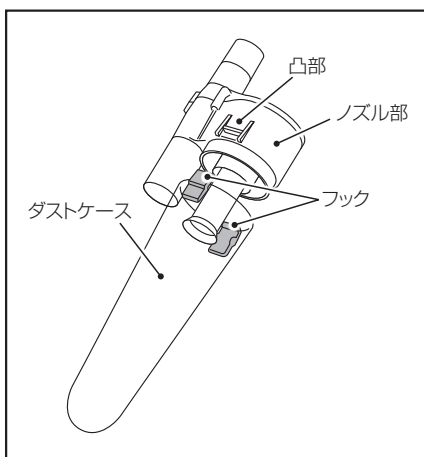


- ③ ノズル部にダストケースを取付けます。

ダストケースのフック(両側)の矢印部を押えて、ノズル部の凸部に引っ掛けて取付けます。

ご注意

- 取付け後、ダストケースを軽く引っ張って、外れないことを確認してください。



マックス株式会社

●販売拠点等

本社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札幌支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙台支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多摩営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東関東営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千葉営業所	〒260-0831	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL (043) 223-5859
群馬営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長野営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新潟営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静岡営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大阪支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0253
京滋営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神戸営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4 ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖縄営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098) 875-3577
広島支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
東日本受注センター	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (0120) 166-199
西日本受注センター	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (0120) 113-850
マックス販売株式会社	本社 331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉営業所	331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横浜営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金沢営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡山営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四国営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松山営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1 白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0265
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4102742
210112-01/00

便利メモ

お名前				商品名	AJ-CY32
お買い上げ日	年	月	日	製造番号	
販売店名	☎				